

普及現地情報

野草堆肥の利用促進に向けた取組（阿蘇）

阿蘇地域では、世界農業遺産を活用した農業の活性化の取組みの1つとして、野草堆肥の利用を促進しています。

取組の一環として、佐賀大学と連携した有用性の研究を行っており、これまでに植物の病原菌を抑える「拮抗菌」が野草に大量に含まれていることが証明されています。

今回、生産現場で拮抗菌の効果の検証と更なる利用促進を図るため、7月に阿蘇市のアスパラガス、トマトハウスそれぞれ展示ほを設置しました。アスパラガスでは、生産上の課題となっている斑点性病害に対する抑制効果を検討します。トマトでは、通路に野草堆肥を敷くことによる、すすかび病等の発生抑制効果や作業性向上などの効果について検討します。この展示ほにより病害抑制等の効果を確認した後、地域の生産者に周知し、利用推進につなげていきます。

※野草堆肥・・・野草を野外で半年以上自然に腐熟させたもの



作業風景



野草堆肥施用圃場

種類 普及活動の事例

★関連する普及課題名：世界農業遺産の活用による
農業の活性化

HP掲載可否：可

連絡先：県北広域本部 阿蘇地域振興局

農業普及・振興課 猿渡 真
清田 雄真